

～ “蒜” という漢字の読み方について ～

発行責任者
(有)アイエスシー 田崎

個人的に学びを得た漢字についてのご紹介です！(笑)

2月もあっという間に過ぎ去り、気がつけば春の兆しを感じる3月に突入してしまいました。私の趣味であるお散歩も、日光を浴びて骨を強くしたいという思いもあり、ぽかぽか陽気の日には足取り軽やかに何時間も歩いてしまうこの頃です😊

今回は私の超個人的な新たな学びについて、この場を借りてまとめさせて頂きました(笑)。

ある日、会社で調べ物をしていたところ、“**大蒜**”という漢字に遭遇しました。読み方が分からず【草かんむりに示すが2つ 漢字】で検索したところ…

↓

なぜか“**石蒜**”がヒット、読み方が(**ヒガンバナ**)ということを知りました。そして“蒜”の漢字の出し方がわかり、当初は“大蒜(オオバナ)”と思い検索したところ…

↓

“**大蒜(ニンニク)**”という読み方がわかり、衝撃が走りました🌟

また、今までニンニクはユリ科ネギ属に分類されていたのが、**DNAが決める新分類ではヒガンバナ科ネギ属**になったということもわかりました。ヒガンバナとニンニクが同じ仲間である由縁(“蒜”を充てがわれたもの同士)を知り、とても腑に落ちた気持ちになりました。まだまだ知らない物事が世の中には沢山溢れていると、改めて感じた次第です!!!



石蒜(ヒガンバナ)

生薬名ではセキサン

薬用には鱗茎を用い、鎮咳去痰や鎮痛、降圧、催吐などの薬理作用があります。



大蒜(ニンニク、オオビル)

生薬名ではタイサン、ダイサン

胃もたれや腹痛、下痢、寄生虫症などに応用されており、最近の研究では高血圧、高脂血症に対する効果や、血液が固まるのを防ぐ作用もあるとのこと。

〒816-0803 福岡県春日市春日原南町 4-11

フェリス春日 3F

TEL:092-586-5170 FAX:092-586-5183

<http://www.isc1960.co.jp/index.html>



有限会社アイエスシー